

若年者ものづくり競技大会 ロボットソフト組込み職種

金賞 / 厚生労働大臣賞 受賞

今年度の若年者ものづくり競技大会※¹「ロボットソフト組込み」※²職種は、福岡県のマリンメッセ福岡にて7月31日(水)・8月1日(木)の二日間で開催されました。

各地方予選を勝ち抜き都道府県協会の推薦を受けた26チーム52名の中から、奈良県立奈良朱雀高等学校の情報研究部に所属する情報工学科3年生と1年生で編成したチームが、課題を確実にクリアし、**金賞** / **厚生労働大臣賞**を見事に受賞しました。

情報工学科のチームは、この大会で8年連続入賞していますが、10年目で**念願の1位を女子ペアチーム**で獲得しました。

プログラミングとは、制作者のプログラム通りに実行されるものなので、今回のようなロボットでも、選手のミスや成功がロボットの動きとして現れるわかりやすさに魅力があります。(3年選手談)



※¹ 若年者ものづくり競技大会とは、中央職業能力開発協会が主催する二十歳以下の若者の技能を競う大会のことである。

※² 「ロボットソフト組込み」職種とは、オリジナルロボットまたは既製品ロボットを用いて、課題に応じたプログラミングを行うものである。課題は全部で3種類あり、その総合得点を競う。課題内容は事前に公開されるが、大会当日には一部変更されるため、限られた時間内に、的確にプログラミングを行う技術が問われる。また、1チーム2名で構成されるため選手同士のコミュニケーションも大切な競技である。